

全力で力を合わせ最後まで

5月27日に飯山小学校運動会が行われました。5月15日から特別時間割で、学年・連学年・全校で練習に取り組み、入学して2ヶ月弱の1年生もダンスを取り入れた玉入れやかけっこに頑張りました。

2年生は「全全全盛」と、タイトル名を変え、大ヒットした映画の主題歌で、3年生は伝統のソーラン節を「飯山小ソーラン」として、かっこよく踊りました。4・5年生は、ふるさと飯山を組体操で、ダイナミックに表現し、高学年となり係活動でも、みんなの支えとなつて運動会を盛り上げました。

6年生は、先輩から引き継ぎ、5年生の秋から練習してきた鼓笛を披露しました。曲は「葵の城下」「校歌」と大ヒットした「恋」です。曲の演奏だけでなく、マーチングの美しさも追求してきました。練習の時には弱音を吐くことも

ありましたが、みんなが必死に取り組む、自信をつけ、当日はすばらしい演奏とマーチングを保護者や地域の皆様に見ていただくことができました。飯山小学校では「この運動会を成功させるため、PTAの皆様にはグラウンド整備から前日準備や片付けにもご協力いただいております。保護者、地域の皆様のご理解とご支援があつてできたことです。」と感謝していました。



一人ひとりの人権を尊重し、幸せな社会づくりのため

の推進活動を地域で行っています。活動にご理解とご協力をお願いいたします。(敬省略)

- ◎高藤 静雄 (其綿)
○梨元 和子 (大倉崎)
高橋 洋 (新町)
高橋 良治 (福寿町)
丸山 斉 (北町)
元山 伊津子 (伍位野)
森山 善司 (北畑)
箕口 啓子 (下木島)
高梨 邦夫 (富田)
山崎 博文 (柏尾)
荻原 章一 (藤ノ木)
丸山 みさを (山口)
春日 孝利 (中条)
山岸 美千代 (法寺)
常盤井 智行 (小沼)
二ノ宮 猶文 (曾根)
大熊 一郎 (大深)
小出 政敏 (上境)
齋藤 良子 (西大滝)
- ◎会長 ○副会長

飯山市のスポーツ推進委員をご紹介します

平成29・30年度の飯山市のスポーツ推進委員が決定しましたのでご紹介します。(敬省略)

- ◎竹内 亨 (飯山) 大平 剛志 (秋津)
堀田 学 (木島) ○村越 実 (瑞穂)
山室 英貴 (柳原富倉) 関 孝和 (外様)
齋藤 真彦 (常盤) 小川 直樹 (太田)
渡邊 一聖 (岡山) 田中 淳 (教育長推薦)
小嶋 英治 (教育長推薦) ※◎会長 ○副会長

第25回飯山市サマージャンプ大会

開催日時 7月1日④、2日⑤
(1日はオフィシャルトレーニング、大会は2日) 皆さんの応援をよろしくお願いします。



スポーツ推進委員とは、スポーツ振興法に基づき、市民の皆さんにスポーツの実技指導とスポーツに関する指導・助言を行い、地域スポーツの普及と推進の担い手として活動しています。委員は各地区からの推薦と教育長推薦により決定し、市から委嘱される非常勤職員です。

小学校の親子レクや公民館事業でのニュースポーツ指導、児童クラブ向けのニュースポーツ教室等の活動を行っています。

飯山市社会教育委員の紹介

平成29年度飯山市社会教育委員の皆さん(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)をご紹介します。

社会教育委員は、社会教育法により、地域の実情に

応じた社会教育行政を行うため、社会教育に関する諸計画を立案したり、教育委員会の諮問に対して意見を述べたりするなどの職務を行っていただいています。

- | | |
|------|--------|
| 代表 | 金井 晃 |
| 職務代理 | 藤田 波留美 |
| 委員 | 蟹沢 友司 |
| ” | 森崎 鉄兵 |
| ” | 青木 彰 |
| ” | 丸山 明美 |
| ” | 武田 誠 |
- (敬称略)



第42回 長野県青少年補導活動推進大会 in 飯山

市民学習支援課 社会教育係 ☎62-3342

県下の青少年補導委員が一堂に会し、日ごろのボランティア活動における諸問題や成果を持ち寄り研修を行い、青少年補導活動の一層の発展に資することを目的として、「第42回長野県青少年補導活動推進大会」が飯山市で開催されます。

(申込み不要で一般参加も可能です。)

■日時 7月14日(金) 12:30～16:30

■会場 飯山市文化交流館なちゅら大ホール

■内容

- 補導委員表彰 ○補導活動事例発表
- 講演 講師 白澤 章子氏(川中島の保健室 代表)
- ※演題は性教育に関する内容を予定しています

主催 長野県青少年補導委員会連絡協議会、長野県青少年補導センター連絡協議会、長野県子ども・若者育成支援推進本部、飯山市・飯山市教育委員会



人権学習シリーズ

教育委員会の人権政策課では、各集落を単位とした学習会について、2年に1回を目安に開催をお願いしています。また、市民館を会場に年6回の人権同和教育講座を開催して、広く参加者を募っています。

なぜこのように、人権に関する学習の場を数多く設定しているのでしょうか。その理由については、私なりの考えを述べたいと思います。

一つ目の理由は、みんなで解決していかなければならない人権課題が、今は多岐にわたっているということです。市人権政策推進の基本方針の中には、「同和教育」「外国人の人権」「女性・男性の人権」や「子ども、高齢者、障がいのある人の人権」「ハンセン病患者・元患者の人権」「性同一性障がい者の人権」「インターネット上のいじめの問題」等、様々な課題が示されています。そして、これらの課題解決に向けては、まず、それぞれの現状を正しく知ることが始まりになりますから、人

